

令和6年度  
事業報告書  
(令和7年3月31日)

一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会



## 令和6年度 事業報告

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

6年度、公益目的事業でも会員企業が必要としていない事業については取り止め、会員が必要としている事業に資源を割り当てることとし、協会は以下の4つの事業を中心に活動を行うことにしました。

- ① VC運営のモチベーション向上のための活動
- ② VC運営の課題調査と課題解決の活動
- ③ 会員企業のビジネス改革のための会員企業間のコラボレーション活動
- ④ 上記の活動を行うための経営基盤の改善

その活動について事業計画に沿って報告をいたします。

### 1. 定例会議での会員企業間の情報共有・コミュニケーションの強化

#### (1) 理事会・全体会の開催（東京国際フォーラム&オンライン兼用）

第1回	常務会・理事会	5月21日	総会議案、賛助会員入会審議 機関誌改革案、研修事業案、FCショー報告他
第2回	理事会・全体会	9月12日	正会員退会（瀬戸内F）賛助会員入会審議 就業規則変更審議、自主行動計画他 実態調査報告及び結果から見た課題
第3回	理事会・全体会	12月5日	実態調査の課題アンケート結果と研究会実施審議 泉田名誉会長叙勲報告、賛助会員入会審議 60周年記念準備委員会設置他
第4回	理事会・全体会	3月19日	正会員退会及び賛助会員入会審議、 令和7年度事業計画・収支計画審議、 中企庁RESAS説明会実施

6年度は残念ながら正会員の退会2社（瀬戸内ファニチャー、ミツウロコプロビジョンズ）あり賛助会員の入会は8社と多くの入会を進める事が出来ました。（日新火災、StayWay、リンクサス、ランエン、ユーザック、uCloudlink Japan、クレド、ファイサム）

又、事業計画に挙げた目標参加率理事会80%、全体会70%に対して、理事会についてはほぼ達成したが、全体会は全く改善できなかった。今後も課題とする。

	5月	9月	12月	3月	合計
理事会	82%	72%	89%	72%	79%
全体会	54%	50%	72%	58%	58%

#### (2) 正賛研究会の見直し

常務会での討議を行ったが、明確な改善策が出てこない為、ペンディング事項となった。しかし、新規賛助会員に関して、12月からの全体会で企業説明を行い、正賛会員間のコミュニケーションを図った。

12月全体会	日新火災、StayWay、SCM共同ネット
3月全体会	ランエン、ユーザック、エコール（正会員）

#### (3) 総会・全国大会の実施

第59回通常総会、第58回全国大会

6月6日（木） 上野 東天紅にて リアル開催にて開催

総会	第1号議案	事業報告案
	第2号議案	決算報告案
	第3号議案	令和6年度事業計画案について
	第4号議案	令和6年度収支予算案について
	第5号議案	理事追加（泉田幸雄名誉会長兼務）

記念講演

「近年の働き方改革の注目点・事例  
～人材不足&大変革時代を切り抜けるための働き方改革～」

コクヨ株式会社 働き方改革PJアドバイザー

坂本 崇博氏

懇親会	会長挨拶			井原 實
	来賓ご祝辞	自由民主党	衆議院議員	甘利 明 様
		自由民主党	衆議院議員	小泉 進次郎 様
		農林水産省	新事業・食品産業部	宮下 雅一 様
		経済産業省	大臣政務官	吉田 宣弘 様
	乾杯	中小企業基盤整備機構	理事長	宮川 正 様
	賛助会員紹介			
	中締め			副会長 牧野 達

(4) 新春賀詞交歓会及び泉田名誉会長旭日中綬章叙勲祝賀会の開催

1月20日(月) 東京ドームホテルにて リアル開催にて開催

記念公演 「脳を知ってモチベーションアップ～やる気アップの秘訣～」

講師：東京大学薬学部教授 池谷 裕二 様

祝賀会	新年挨拶			協会会長	井原 實
	来賓ご祝辞	自由民主党	衆議院議員		小泉 進次郎 様
		自由民主党			甘利 明 様
		農林水産省	農林水産副大臣		笹川 博義 様
		経済産業省	商務サービス審議官		南 亮 様
	受章者紹介			副会長	菅田 茂
	受章者挨拶			名誉会長	泉田幸雄
	乾杯	日本小売業協会	会長		野本 弘文 様
	中締め			副会長	平野 実

2. VC運営のモチベーション向上のための活動

(1) 機関誌の配布先変更と新規企画

先駆けて1月11日に第1回広報部会を開催し、現状の機関誌のあり方・配布先を変更し、各チェーン本部のモチベーション向上を目的とした活動の柱になるべく、改革を計画し5月の理事会に提案した。

配布先 全国の商工会議所の会頭宛てに送付していたが閲覧形跡もない為中止し、その分を正会員の加盟店行動枠を拡大した。

(2) 会員企業への情報の共有強化

各チェーン間の共有強化の為、「VC本部に行ってみた」を新規企画として開始した。

7月号 セルコチェーン、西川株式会社

9月号 全日食チェーン、全日本酒類販売店協会

11月号 オールジャパンドラッグ、コスモスベリーズ

会員の方からは好評だったが、現在 事務局都合により中断中です。

事業計画の情報共有ストレージは実行に移せなかった。

3. VC運営の課題調査と課題解決の活動

(1) 実態調査のあり方について

6月に実態調査を実施、7月に回収し8月に集計を行った。

9月の理事会にて正会員VCの課題集計に対し論議を実施。その後各正会員にアンケートを行い12月の理事会にて各企業の課題を共有すべく以下の研究会を7年度に立ち上げを決定した。

物流研究会、DX研究会、補助金研究会、協業研究会

(2) 教育部会の開催

4月の教育部会において、実態調査結果の課題について議論し計画を実施立案する。

人の育成・働き方問題、生産性の向上、消費者の変化・サービスに絞って

リテイルマーケティングセミナーを 加盟店も参加できるカリキュラムに変更する。

集合セミナー 6講座、 オンラインセミナー 10講座を低予算で開催し

本部職員 359名、 加盟店 93名、 合計 452名の参加があった。

(3) 各種セミナーの開催

■ 補助金セミナー 4月25日開催 5社 34名の参加

3月27日開催予定でしたが参加者少なく中止し個別相談会に変更

■ 政策研究会 9月12日「年収の壁を知る」セミナー 社会保険労務士 池田優子様

■ 地域経済分析システムRESAS説明会 3月19日全体会で開催

#### 4. 会員企業のビジネス改革のための会員企業間のコラボレーション活動

##### (1) 拡大部会の開催

開催	第1回	4月11日開催	フランチャイズショー反省会 大阪フランチャイズショーは不参加
	第2回	8月23日開催	東京フランチャイズショーの参加検討
	第3回	12月4日開催	東京フランチャイズショーの参加会員決定 〃 レイアウト検討

##### (2) フランチャイズチェーンショーへの出展による加盟店拡大

6年度はフランチャイズショーの参加は、5年度と同じ7企業にご参加いただきました。然しながら、加盟店候補へとつながる機会は少なく、協会負担費用も大きいため別の拡大方法を検討し7年度は出展しない旨を3月の理事会に承認された。今後別の方法を検討していきたい。

##### (3) 各企業間のコラボレーションによる事業拡大

5月、9月の理事会では、各会員の状況の共有時間を取ったが、12月、3月は、時間的な制約がありできなかった。今後の大きな課題であった。

#### 5. 活動を行うための経営基盤の改善策

##### (1) 酒類販売管理者研修の更なる実績向上

3年前比110%の13,000人の受講者を目標としました。その為に大阪難波、神戸での開催を試みました。大阪難波は予定通りでしたが、神戸は受講者が伸びず中止しました。それ以上に、新しい競合団体やEラーニング受講出現により既存会場も大きく6年度受講者数は11,628人と89%の達成に終わった。

##### (2) オンライン研修対応計画の立案

事務局人員体制の不安定もあり、立案に至らなかった。7年度に継続計画を行います。

令和6年度

# 決算報告書

(令和7年3月31日)

一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会

## 貸借対照表

令和7年3月31日 現在

(単位：円)

科目	当年度
<b>I 資産の部</b>	
1. 流動資産	
現金及び預金	50,649,893
未収金	4,048,000
前払金	1,023,334
仮払金	0
流動資産合計	55,721,227
2. 固定資産	
(1) 特定資産	
退職金引当預金（定期）	904,198
特定資産合計	904,198
(2) その他固定資産	
什器備品	0
ソフトウェア	3,613,500
電話加入権	151,424
敷金	659,384
その他の固定資産合計	4,424,308
固定資産合計	5,328,506
資産合計	61,049,733
<b>II 負債の部</b>	
1. 流動負債	
未払金	7,147,819
前受金	120,000
預り金	179,808
流動負債合計	7,447,627
2. 固定負債	
退職給付引当金	716,023
役員退職慰労金引当	210,000
固定負債合計	926,023
負債合計	8,373,650
<b>III 正味財産の部</b>	
1. 一般正味財産	
一般正味財産合計	52,676,083
正味財産合計	52,676,083
負債及び正味財産合計	61,049,733

## 正味財産増減計算書

令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算	当年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金	60,000	150,000	90,000
受取入会金	60,000	150,000	90,000
② 受取会費	33,344,000	33,869,500	525,500
正会員受取会費	14,114,000	13,763,500	△ 350,500
賛助会員受取会費	16,730,000	16,960,000	230,000
部会等受取会費	2,500,000	3,146,000	646,000
③ 事業収益	75,225,000	62,479,202	△ 12,745,798
広報事業収益	3,925,000	4,481,750	556,750
教育研修事業収益	2,200,000	1,057,100	△ 1,142,900
酒研修(許認可)事業収益	69,100,000	56,940,352	△ 12,159,648
④ 雑収益	372,000	435,694	63,694
受取利息	0	34,894	34,894
雑収益	372,000	400,800	28,800
経常収益計	109,001,000	96,934,396	△ 12,066,604
(2) 経常費用			0
① 事業費	74,633,000	61,397,858	△ 13,235,142
広報事業費	15,608,000	11,999,043	△ 3,608,957
人件費	3,468,000	2,441,688	△ 1,026,312
諸経費	12,140,000	9,557,355	△ 2,582,645
教育研修事業費	7,694,000	5,866,822	△ 1,827,178
人件費	3,468,000	2,441,685	△ 1,026,315
諸経費	4,226,000	3,425,137	△ 800,863
酒類販売管理事業費	51,331,000	43,531,993	△ 7,799,007
人件費	6,143,000	6,108,395	△ 34,605
諸経費	45,188,000	37,423,598	△ 7,764,402
(内 減価償却費)	(4,092,000)	(1,314,002)	2,777,998

一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会

科目	予算	当年度	増減
② 管理費	33,058,000	28,076,178	△ 4,981,822
人件費	9,911,000	9,158,362	△ 752,638
役員報酬	0	2,100,000	2,100,000
給料手当	6,491,000	4,453,181	△ 2,037,819
雑給	2,304,000	1,158,763	△ 1,145,237
退職給付費用	0	353,280	353,280
法定福利費	1,116,000	1,093,138	△ 22,862
諸経費	23,147,000	18,917,816	△ 4,229,184
会場費	3,300,000	2,496,312	△ 803,688
会議費	3,300,000	3,573,988	273,988
旅費交通費	1,200,000	819,560	△ 380,440
通信運搬費	600,000	345,761	△ 254,239
消耗品費	600,000	395,695	△ 204,305
新聞図書費	0	145,460	145,460
光熱水料費	324,000	337,653	13,653
賃借料	2,676,000	2,916,844	240,844
報酬手数料	1,178,000	1,392,600	214,600
諸謝金	1,040,000	832,000	△ 208,000
福利厚生費	479,000	103,219	△ 375,781
中小企業退職金共済	96,000	240,000	144,000
租税公課	72,000	491,491	419,491
支払手数料	4,800,000	989,780	△ 3,810,220
リース料	1,140,000	1,142,893	2,893
研修費	0	0	0
保守料	1,152,000	535,175	△ 616,825
諸会費	950,000	1,065,375	115,375
減価償却費	0	0	0
交際費	60,000	951,400	891,400
雑費	180,000	142,610	△ 37,390
退職給付引当金繰入額	0	21,825	21,825
役員退職慰労金引当金繰入額	0	210,000	210,000
経常費用計	107,691,000	89,705,861	△ 17,985,139
当期経常増減額	1,310,000	7,228,535	5,918,535
固定資産受贈益	0	0	0
退職給与引当金取崩額	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	1,310,000	7,228,535	5,918,535
一般正味財産増減額	1,310,000	7,228,535	5,918,535
一般正味財産期首残高	45,447,548	45,447,548	0
一般正味財産期末残高	46,757,548	52,676,083	5,918,535
II 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	46,757,548	52,676,083	5,918,535

## 財産目録(公益事業一般会計)

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		備 考
I 資産の部			
1. 流動資産			
1) 現金預金	50,649,893		
イ) 現金	218,638		
ロ) 預金			
普通預金	50,431,255		みずほ銀行浜松町支店 他
2) 未収金	4,048,000		酒講習受講料他
3) 前払金	1,023,334		4月分賃借料他
4) 仮払金	0		
流動資産合計		55,721,227	
2. 固定資産			
1) その他の固定資産			
イ) 什器備品	0		
ロ) ソフトウェア	3,613,500		ホームページ(酒)
ハ) 電話加入権	151,424		N T T (2回線分)
ニ) 敷金	659,384		
ホ) 退職金引当預金(定期)	904,198		みずほ銀行浜松町支店
固定資産合計		5,328,506	
資産の部 合計		61,049,733	
II 負債の部			
1. 流動負債			
1) 未払金	7,147,819		ソフトウェア未払金他
2) 前受金	120,000		R7賛助会員会費
3) 預り金	179,808		職員所得税他
流動負債合計		7,447,627	
2. 固定負債			
1) 退職給与引当金	716,023		
2) 役員退職慰労金引当	210,000		
固定負債合計		926,023	
負債の部 合計		8,373,650	
正味財産		52,676,083	

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却については、定額法による。
- (2) 資金の範囲については、現金、預金、未収金、前払金、仮払金、立替金、未払金、前受会費、前受金、預り金及び仮受金を含める。
- (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法は総平均法による。
- (4) 消費税の処理は、税込み方式による。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	42,493,075	50,649,893
未収金	4,706,971	4,048,000
前払金	916,567	1,023,334
仮払金	0	0
立替金	0	0
合計	48,116,613	55,721,227
未払金	8,099,292	7,147,819
前受金	0	120,000
預り金	290,377	179,808
仮受金	0	0
合計	8,389,669	7,447,627
次期繰越収支差額	39,726,944	48,273,600

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,924,650	1,924,650	0
ソフトウェア	31,047,970	27,434,470	3,613,500

以上のとおりであります。

東京都台東区東上野1-2-13 カーニープレイス新御徒町3階  
一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会

(会 長) 井 原 實  
(副会長) 菅 田 茂  
村 内 健一郎  
西 川 八一行  
平 野 実  
牧 野 達

以上の各項を監査致しましたところ、適法正確であることを確認します。

令和7年5月12日

監事

大久保 隆正



本田 誠一郎

